

事業&活動報告

「ボランティア・市民活動マッチングプログラム2019」実施報告

センターでは、「ボランティア体験をしてみたい」「NPOの活動に興味がある」といった市民の方と、「ボランティアを受け入れている」「一緒に活動する仲間を募集中」といった団体とをマッチングし、活動体験に結びつけることを目的とした企画を2017年より実施しています。3回目となる今回は、両者が直接顔を合わせて話をしたり聞いたりできる、いわば“出会いの場”と言える「マッチングイベント」を、8月4日にきぼーるアトリウムで開催しました。

当日は、事前に受入団体としてエントリーいただいた約20の多様な分野・活動内容の団体が集結し、すべての団体が順番に、ステージで活動紹介を行いました。その後来場者の方は、興味を持った団体のブースを訪ねて個別に質問をしたり、より詳しい説明を聞いたりして、活動体験先を決めることができましたようにしました。



今回、受入団体の約半数が初めてのエントリーで、環境保全や福祉(高齢者・障害者)、子ども・若者の支援、

社会教育、雇用問題など、多様な分野にわたる団体が集まりました。来場者を十分に集めることができなかったことは大きな反省点ですが、受入団体の方からは、企画内容の具体的な改善提案をいただいたり、団体同士の交流もできたので参加してよかったといった声をいただいたりしています。スタッフ一同、次回に向けてよりよい企画にしようという思いを新たに、早速検討を始めています。

なお、マッチングイベントの来場者に配布した、全受入団体のボランティア募集案内や連絡先などの情報が掲載されている資料「活動体験メニュー集」を、センターでも配布しています。もちろん無料です！単発(一日だけの参加)や、活動の見学だけでも可という団体もありますし、ボランティアは年齢を問わず受け入れているという団体もあります。資料をご希望の方は、どうぞお気軽にスタッフまでお声かけください。



「ちばさぼセミナー」認定企画のご紹介

「ちばさぼセミナー」とは、登録団体が主催し、千葉市民活動支援センターを会場にして開催する公益性の高い内容の講座や相談会などを、広報や会場の優先予約により、当センターがバックアップする枠組みです。今年度は4団体から応募をいただき、審査の結果、すべての団体の企画を認定しました。今回は、現在参加者を募集中の1団体の企画の詳細をご紹介します。

なお11月以降に、中高年齢者の再就職を支援するセミナーや、終活セミナーと相談会などの企画も開催される予定です。



主催：ことばとコミュニケーションの会
「声に出して楽しむワークショップ」

呼吸・発声・音読を通して日本語の楽しさ、豊かさを体験したり、カードを使ったコミュニケーションを経験したりすることで、話し方の上達を図ります。

日時▶9/24、10/22、11/26、1/28(第四火曜、12月はなし)

〔第1部〕「声に出して楽しむ」 14:00~15:00

〔第2部〕「コミュニケーション」 15:15~16:15

会場▶千葉市民活動支援センター 会議室

参加費▶各部500円(いずれかのみ参加も可)

定員▶各部15名(要事前申込み、先着順)

申込み・問合せ▶TEL 090-7255-6296 FAX 043-254-7748

ミニコラム

ちばさぼの風 vol.33

市民活動団体の実態 ～数値と価値～

全国には5万を超えるNPO法人が存在していますが、内閣府の調査により、法律で義務付けられている事業報告書の提出を行っていない法人が、全体の約15.6%にあたる8,064法人ある(2018年10月時点)という実態が明らかになりました。うち1,273法人は、事業報告書等を3年以上提出していないのだそうです。

こうした法人の中には、代表者など特定の人に役割が集中してしまい義務を果たすことが困難である、あるいは活動が休眠状態なので報告を出していない、といったケースもあると推察されます。もちろん、法律を遵守していない法人を弁護する余地はなく、NPO法人全体に対する信用の低下にもなるので、大きな問題だと言えます。

しかし違った角度から見ると、全国で4万以上のNPO法人が義務を果たして活動をしている、ということになります。法人格をもっていない任意団体も多く存在するので、

市民活動そのものが活発でない、ということにはならないでしょう。ちなみに千葉市民活動支援センターには、7月末時点で796の市民活動団体(うちNPO法人:225、任意団体等:571)が登録をしています。

この団体数ですが、人口比で(他の自治体より)多いのか、増加しているのか、また休眠状態の団体は含まれていないかなど様々な見方ができ、それによって意味も変わってきます。また、たとえ一団体であっても、他のどの団体もやっていないことに取り組んでいるのであればその価値はグッと高まるので、必ずしも団体数が少ないことが良くないということにはなりません。

市民活動の価値を数値化することは、なかなか難しいと感じます。と、ぼやいているだけでは何も生み出さないので、価値の発信を様々な視点から、また様々な方法で行うことを心がけたいと思います。(は)